

一九八九年
四月二十五日
発行



第72巻 第3号

史学・地理学・考古学

論 説

- ニザーム家のワクフと14世紀のヤズド……………岩 武 昭 男 (1)
- 1868年の天皇誕生日の祝祭……………井 上 勝 生 (47)
——近代成立期の国民統合について——
- 18世紀フランスの
コレージュ改革とパリ高等法院……………天 野 知 恵 子 (90)
- ジャー・ラマとコブド問題……………生 駒 雅 則 (123)
——モンゴル人民共和国形成期における民族問題の一考察——

書 評

- 富岡次郎著『現代イギリスの移民労働者
——イギリス資本主義と人種差別——』……………中 山 章 (162)

計 報

小林行雄博士計

史 学 研 究 会

京都大学文学部内

平成元年二月 日本学術会議広報委員会

◇ 第十四期の特別委員会

昨年一〇月の第一〇六回総会で決定された、日本学術会議の第一期活動計画では、活動の重点目標として、①人類の福祉・平和及び自然との係わりを重視する学術の発展、②基礎研究の推進と諸科学の整合的発展、③国際関係の重視と国際的寄与の拡大の三本の柱を掲げるとともに、これらの重点目標を踏まえて、多方面の科学者によって構成される日本学術会議にふさわしく各分野にわたって広く対応し、かつ、第一四期中に適切な形で報告・提言に取りまとめべき具体的課題とし一五の課題を選定している。

この度設置された七つの特別委員会は、上記の具体的課題のうち、従来から常設されている六つの常置委員会で取り扱うものを除き、かつ、緊急に調査審議を行う必要がある七課題に対応するものである。

各特別委員会の名称及び任務等は次のと

おりである。

◇平和及び国際摩擦に関する特別委員会

委員長：川田 侃（第二部会員）

（任務） 国際的視野と我が国が置かれて

いる地域的狀況や特性を踏まえて、国際摩擦（文化的・政治経済的・技術的等）の解決と平和に関する総合的な研究の推進の在り方やその体制等について検討する。

◇医療技術と社会に関する特別委員会

委員長：水越 治（第七部会員）

（任務） 医療技術の急速な進展は、自然科学の分野だけでなく、人文・社会科学の領域にも種々の問題を提起している。様々な医療技術に係わる社会的側面を総合的に検討する。

◇生命科学と生命工学特別委員会委員

長：井上英二（第七部会員）

（任務） 生命科学と生命工学の推進方策を検討するとともに、これらの急速な進歩を踏まえ、それらと人間・社会及び自然との係わりについても総合的に検討する。

◇農業・農村問題特別委員会

委員長：水間 豊（第六部会員）

（任務） 農業・農村のもつ食糧生産や環境保全等の多面的機能について、

近年の国際的・国内的状況を踏まえつつ、文化・経済・自然・都市との係わりで幅広く検討する。

◇資源・エネルギー問題特別委員会

委員長：上之園親佐（第五部会員）

（任務） 資源・エネルギーの開発と利用の問題を検討する。それに伴う自然及び人間社会への好ましくない影響を防止するという観点から問題を検討する。

◇人間活動と地球環境に関する特別委員会

委員長：吉野正敏（第四部会員）

（任務） 近年、経済社会活動の拡大等为背景に、人間活動が環境に及ぼす影響が地球規模で広がっており、深刻化する可能性を強めている。このような状況を踏まえ、人間活動と地球環境の問題等を検討する。

◇高度技術化社会特別委員会

委員長：佐藤 豪（第五部会員）

（任務） エレクトロニクス、メカニクス等の技術の発展・普及が社会に及

ぼす影響、社会の情報化・技術化と人間との調和等について検討する。また、巨大な技術システムとヒューマン・ファクターとの関連についても安全確保と人間性確保の立場から検討する。

これらの各特別委員会は、発足以来現在までに各々二〜三回の会議を開催するとともに、委員会によっては、シンポジウムやヒヤリングを実施して、それぞれの任務に沿った具体的な審議課題や今後の審議計画等について熱心に審議を進めている。今後の審議の成果が大いに期待される。今後、今後、審議成果が発表され次第、紹介していく予定である。

なお、以上の七つの特別委員会のほかに、先般の総会の申合せにより、本年の四月総会において、人間の科学特別委員会(仮称)を追加設置する予定である。この「人間の科学」については、その具体的検討方法が複雑であるので、あらかじめ若干の整理を行った後に、特別委員会を発足させることにしたものであり、現在、検討会を設置して問題点の整理を行っているところである。

『史林』投稿規定

本誌の投稿規定は次の通りです。

◇資格 本会会員であること。

◇投稿受付原稿の種類、長さ

○論説 四〇〇字詰八〇枚以内

○研究ノート 四〇〇字詰五〇枚以内

○書評 四〇〇字詰二〇枚以内

○紹介 四〇〇字詰三枚程度

◇論説には四〇〇字以内の「要約」と「欧

文要約」を添付のこと。

◇研究ノート・研究動向・書評には、「欧

文タイトル」のみ添付のこと。

◇注は各章末に入れること。

◇送り先 史林編集委員会

〒六〇六 京都市左京区吉田本町

京都大学文学部内

編集後記

会員の皆様いかがお過ごしでしょうか。連日、隣国から送られてきた悲惨な映像は、歴史を学ぶ身にかつてない衝撃を与えました。それとともに、表現の自由が確保されることの重要性を、編集委員の一人として

あらためて痛感しております。さて第七二巻三号をお届けします。

十四世紀のイランを対象とする岩武論説、十九世紀の日本とくに脚光をあびる近代天皇制に関する井上論説、十八世紀フランス教育問題を論ずる天野論説、二十世紀のモンゴルに関する生駒論説と地域、時代ともにバラエティに富む充実した論文が四本並びました。富岡氏著書についての書評を含めて御味読ください。

最後に小林行雄博士の計報を掲載いたしました。研究者に限らぬ広い層に大きな影響を与えた博士の御冥福をお祈りしたいと思います。(圭)

一九八九年四月二五日発行 定価一〇〇〇円
一九八九年五月一日発行 送料五二円

史林 第七二巻第三号(通巻第三五五号)

京都市左京区吉田本町
京都大学文学部内

発行人 史学研究会

理事長 谷川道雄
振替京都市七五一五五番

印刷所 京都市下京区七条御所ノ内町五〇
中村印刷株式会社

THE SHIRIN

or the

JOURNAL OF HISTORY

Vol. LXXII No. 3 May 1989

CONTENTS

Articles :

- IWATAKE Akio: The Waqfs of the Nizām Family
in Fourteenth Century Yazd (1)
- INOUE Katsuo: Celebration of the Emperor's
Birthday in 1868 (47)
—Adoption of a National Policy during the
Formative Years of the Modern Period—
- AMANO Chieko: Les réformes des collèges
au XVIII^e siècle et le Parlement de Paris (90)
- IKOMA Masanori: The Jaa Lama and the Khovd problem (123)
—The national problem in period of the
formation of the Mongolian People's Republic—

Book Review :

- TOMIOKA Jiro, Immigrant Workers in
Modern Britain (NAKAYAMA Akira) (162)
-

Published

by

THE SHIGAKU KENKYUKAI

(The Society of Historical Research)

Kyoto University, Kyoto, Japan

ISSN 0386—9369